

J-SLA 2019 応募要項

日時：2019年6月1日(土)・2日(日)

場所：中央大学 多摩キャンパス3号館 (<http://www.chuo-u.ac.jp/access/tama/>)

招待講演：Dr. Bill VanPatten (Independent Scholar, *formerly with Michigan State University*)

J-SLA 2019での研究発表を募集します。研究発表には「口頭発表」または「ポスター発表」および「学生ワークショップにおける口頭発表」があります。発表を希望される方は、以下の要領でご応募ください。積極的なご応募をお待ちしております。

★「口頭発表」または「ポスター発表」について

(「学生ワークショップにおける口頭発表」については、下記をご覧ください)

1. 応募資格

応募者は、2019年6月1日の時点でJ-SLAの会員でなければならない。ただし、共同発表者については、会員でなくてもよい。

2. 募集する研究の領域

第二言語習得の理論的・実証的研究

(当学会のHP (<http://www.j-sla.org/>) の学会発足の趣旨を参照してください。)

3. 申し込み方法

発表要旨を電子メールで送付する。(書式に関しては、9を参照してください。)

件名は、「J-SLA2019 abstract」とする。

送付先： jsla2019abstracts@gmail.com (担当者：尾島 司郎)

発表要旨は、必ず以下の二点を添付ファイルでお送りください。

- ① 指定の書式に従った発表要旨をWORDのフォーマットで保存したもの
- ② 指定の書式に従った発表要旨をPDFで保存したもの

*不備がある場合、審査に時間を要し、結果報告などが遅れることにもなりますので、必ず両方をお送りください。

4. 締め切り

2019年2月28日(水) 11:59pm (日本時間)

5. 発表要旨受け取り確認のメールについて

担当者に電子メールにて発表要旨を添付ファイルで送付した場合、一両日中に担当者から受け取りメールが来ることになっています。万が一、受け取りのメールが来ない場合は、お手数ですが速やかに担当者までご連絡ください。誤って迷惑メールとして処理されてしまうことがあるかも知れませんので、よろしくお願いたします。

6. 審査結果の発表

2019年3月末ごろまでに、本人にメールにて報告する。

7. 口頭発表の時間について

口頭発表は20分で行うこととし、その後に10分間の質疑応答の時間を設ける。

8. 使用言語

日本語または英語

9. 要旨の書式（不備がある場合、審査結果が遅れる原因にもなりますので、必ず以下の書式に従ってください。）

- (1) 英語のフォントはTimesまたはTimes New Roman 10.5 pt、日本語のフォントはMS明朝 10.5 ptを使う。
- (2) 発表の言語と要旨に使用する言語を同一にする。
- (3) 要旨の長さについては、英語の場合には1,000 words以内、日本語の場合には1,600字以内とする。なお、図や表を加えてもよいが、最終的な原稿がA4で2枚に収まるようにする。タイトル・図・表・参考文献は上記の語数・字数制限にはカウントされない。
- (4) タイトルを、要旨の最初の部分に記入する。
- (5) 審査を無記名の状態で行うため、要旨には氏名を記入しない。また、要旨を送付する前に、PDFファイルから作成者情報を消去すること。
- (6) 要旨の最後の部分に、それぞれの長さ（英語の場合：語数、日本語の場合：文字数）を記入する。
- (7) 添付ファイルの送付の際、電子メールの本文に以下の情報を明記する。

- * 氏名（日本語） * 氏名（英語） * 所属（日本語） * 所属（英語） * 郵便番号
- * 住所 * 電話番号 * 電子メールアドレス * 発表言語（日本語か英語のいずれか）
- * 以下のA~Cの内、いずれを希望するか
 - A. 口頭発表のみを希望する。
 - B. ポスター発表のみを希望する。
 - C. 口頭発表を希望するが、(選考の結果) 口頭発表できない場合には、ポスター発表を希望する。

10. 応募と発表に関する注意事項

- (1) 二重投稿は認めない。
- (2) 未発表のものに限る。口頭発表、ポスター発表のいずれにも代理発表は認めない。

- (3) 「口頭発表」は、個人研究・共同研究に関わらず、応募者一人について一件とする。
ただし、「ポスター発表」、「学生ワークショップ」(学生会員のみ)への同時応募はさまたげない。
その場合、発表内容は異なること。

<その他問い合わせ先>

J-SLA 事務局 若林 茂則 (j-sla2019@j-sla.org)

★ 「学生ワークショップにおける口頭発表」について

学生ワークショップは、第二言語習得研究を行っている大学生・大学院生のためのワークショップで、大会第1日目の午前中に行います。このワークショップは、なるべく多くの人に発表してもらうため、いくつかのセッションを並行して行います。また、各セッションには、その分野の専門の研究者が参加して、助言を行います。発表内容は、現在進行中の研究についてでも構いません。他大学の学生との意見交換を通して、研究の幅を広げましょう。

1. 応募資格

応募者は、2019年6月1日の時点でJ-SLAの会員でなければならない。ただし、共同発表者については、会員でなくてもよい。

2. 募集する研究の領域

第二言語習得の理論的・実証的研究

(当学会のHP (<http://www.j-sla.org/>) の学会発足の趣旨を参照してください。)

現在進行中の研究でも構いません。

3. 申し込み方法

発表要旨を電子メールで送付する。(書式に関しては、10を参照してください。)

件名は、「J-SLA2019 abstract」とする。

送付先: jsla2019abstracts@gmail.com (担当者: 尾島 司郎)

発表要旨は、必ず以下の二点を添付ファイルでお送りください。

- ① 指定の書式に従った発表要旨をWORDのフォーマットで保存したもの
- ② 指定の書式に従った発表要旨をPDFで保存したもの

* 不備がある場合、審査に時間を要し、結果報告などが遅れることにもなりますので、必ず両方をお送りください。

4. 締め切り

2019年2月28日(水) 11:59pm (日本時間)

5. 発表要旨受け取り確認のメールについて

担当者に電子メールにて発表要旨を添付ファイルで送付した場合、一両日中に担当者から受け取りメールが来ることになっています。万が一、受け取りのメールが来ない場合は、お手数ですが速やかに担当者までご連絡ください。誤って迷惑メールとして処理されてしまうことがあるかも知れませんので、よろしく願いいたします。

6. 審査結果の発表

2019年3月末ごろまでに、本人にメールにて報告する。

7. 口頭発表の時間について

口頭発表は20分で行うこととし、その後に10分間の質疑応答の時間を設ける。

8. 使用言語

日本語または英語

9. 代理発表は認めない。

10. 要旨の書式 (不備がある場合、審査結果が遅れる原因にもなりますので、必ず以下の書式に従ってください。)

- (1) 英語のフォントはTimesまたはTimes New Roman 10.5 pt、日本語のフォントはMS明朝 10.5 ptを使う。
- (2) 発表の言語と要旨に使用する言語を同一にする。
- (3) 要旨の長さについては、英語の場合には1,000 words以内、日本語の場合には1,600字以内とする。なお、図や表を加えてもよいが、最終的な原稿がA4で2枚に収まるようにする。
- (4) 要旨の右上に、「学生ワークショップにおける口頭発表希望」と明記する。
- (5) タイトルを、要旨の最初の部分に記入する。
- (6) 審査を無記名の状態で行うため、要旨には氏名を記入しない。また、要旨を送付する前に、PDFファイルから作成者情報を消去すること。
- (7) 要旨の最後の部分に、それぞれの長さ(英語の場合:語数、日本語の場合:文字数)を記入する。
- (8) 添付ファイルの送付の際、電子メールの本文に以下の情報を明記する。
 - * 氏名(日本語) * 氏名(英語) * 所属(日本語) * 所属(英語) * 郵便番号
 - * 住所 * 電話番号 * 電子メールアドレス * 発表言語(日本語か英語のいずれか)
 - * 「学生ワークショップにおける口頭発表希望」と明記

<その他問い合わせ先>

J-SLA事務局 若林 茂則 (j-sla2019@j-sla.org)